

第3回 タウンミーティング

テーマ「野木町の魅力発信 ～定住促進に向けて～」

第3回
野木町タウンミーティング
テーマ「野木町の魅力発信 ～定住促進 に向けて～」



10月15日(土)、エニスホールにおいて、第3回タウンミーティングを開催いたしました。

まず、町より今年度の予算・主な実施事業、テーマである定住促進策について説明いたしました。次に、「キラリと光る野木町の魅力ダイジェスト」と題し、野木町の四季の様子から、暮らしたく憩いとやすらぎを与えてくれる自然、野木神社や煉瓦窯などの貴重な文化遺産、キラリと輝く人々の営みといった野木町の魅力をまとめ約8分間の映像をご覧いただきました。

定住促進を図るために「オーラル野木町」で取り組んでいくという旨の町長あいさつの後、テーマに沿ってご出席いただいた町民の皆様との意見交換があらわなされました。

皆さまからいただいたご意見の中から、今回のテーマ「野木町の魅力発信×定住促進に向けて」に関連するご意見の一部(要約)をご紹介します。



◎防災行政無線を多目的に使用したほうがいいと思う。東京などではごもたちの下校時に放送したりしている。

【総務課長】 防災行政無線については現在10箇所の整備をはかっており、この防災行政無線については多目的な利用が可能ですので、学校側や地元の方に相談し、今後検討してまいります。

◎町の食料自給率を向上させたいらどうか。小さい町なので可能だと思ふ。売り先があれば後継者不足の解決にも繋がる可能性があるがあるので学校給食での地産地消を進めてほしい。

【教育次長】 学校給食については町としても地産地消という形で進めているところであり、現在にはひまわり油の試験的な使用や、食育という観点から小学校

で田植え、収穫体験等を行っています。県からも学校給食での地産地消推進の話があるので、検討しながら進めてまいりたいと思います。

【産業課長】 農産物直売所を増やしたいという考えはありますが、なかなか難しいところですが、後継者不足については、各地域や各家庭により様々な条件がありますが、町としてもできるだけ農業振興のためにバックアップしているところです。今後の農業を支えていく上で重要な課題だと思えますので町としても検討してまいりたいと思います。

◎渡良瀬遊水地を町の顔としてもっと発信するべきである。それに伴い、渡良瀬遊水地への野木町からの唯一のアクセスである野渡橋の開閉時間帯を検討する必要がある。谷中湖に遊びに行つて帰ってくるときに門が閉まっているようでは初めてきた人が道に迷ってしまう。

【都市整備課長】 野渡橋の開閉時間帯については、対岸である栃木市と協議を進めましたが、懸念しているのが不法投棄の問題です。5月10日の開通後にす

で何件が不法投棄があり、職員で撤去した経緯があります。時間の延長については関係機関との協議がありますので、ご理解いただきまして、これから考えていきたいと思っております。



野渡橋

◎野木町の不動産業界と連携し、アパートに住んでいる人向けに野木町の魅力を発信してもらいたい。また、幼稚園、保育所へ出向き保護者会などの場で発信することが必要だと思ふ。

【産業建設部長】 若い方に定住していただくということで、都市整備課にて補助金を交付しています。昨年度は52件、今年度は36件の申請をいただいています。また、現在「空き家バンク」ということで栃木県の住宅関係の組織と町ホームページにてリンクできるようにしています。また、町内の不動産業者と連携をとり、情報提供できるように努力しているところです。

問 政策課 ①(57)4134